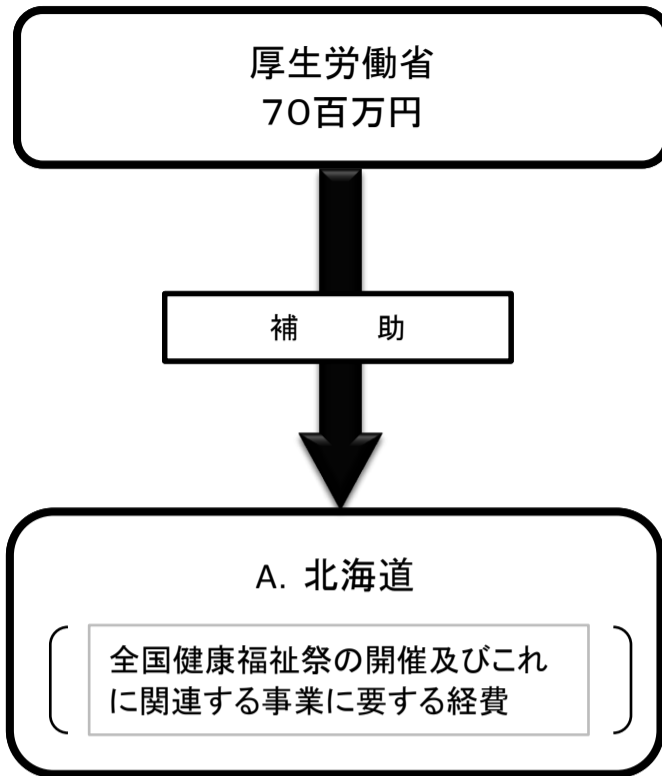


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	全国健康福祉祭事業費	事業開始年度	昭和63年度	作成責任者		
担当部局庁	老健局	担当課室	振興課	振興課長 川又竹男		
会計区分	一般会計	上位政策	高齢者福祉推進事業費補助金			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	全国健康福祉祭開催要綱 (昭和62年10月17日厚生省発政第22号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、全国健康福祉祭の実施を支援することにより、健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及啓発活動の展開を通じ、高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国健康福祉祭開催地都道府県が行う、以下の全国健康福祉祭及びこれに関連する事業に要する経費を対象として助成する。 ①健康関連イベント(スポーツ交流大会、健康づくり教室、新しいスポーツの紹介、健康フェア等) ②福祉・生きがい関連イベント(美術展、囲碁大会、将棋大会、俳句大会、地域文化伝承館等) ③健康、福祉・生きがい関連イベント(シンポジウム、健康福祉機器展等)					
実施状況	【指標】	単位	19年度	20年度	21年度	
	全国健康福祉祭事業費 参加選手等	人	8,887	10,122	9,317	
	総参加者(観客含む)	人	479,170	537,650	538,900	
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	70	70	70	88	87
	執行額	70	70	70		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	597	525	575		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	国庫補助金の精算に当たって、国庫補助金により実施した事業の実績報告書及び国庫補助金の用途の明細を、開催地都道府県より提出いただき用途の確認を行っている。				
	見直しの余地	全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、厚生労働省も主催者の1人として、高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的として、毎年度盛大に開催されており、昨年度の北海道・札幌大会は約54万人の参加者を集めたところである。 また、既に第29回(平成28年)大会まで開催地が決定しているところであり、関係自治体からは国庫補助金の増額の要望が提出されているところであり、引き続き継続的な補助が必要である。 なお、平成22年度予算においては、これまで長寿社会開発センターが担ってきた全国に向けた広報業務について、毎年度の開催により全国的に定着してきたこと等を踏まえ、開催都道府県が行う業務と併せて実施していただくこととしたものであり実質的な増額ではない。				
予算チームの監視・効率化	一部改善(費用対効果を検証のうえ、ポスター・パンフレット等の縮減) ・全国健康福祉祭事業について、その経費に係る費用対効果等について検証し、予算の縮減を図ること					
補記						

【 平成21年度実績 】



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載す
 る。使途と費目の双方で実情
 が分かるように記載)

A.北海道			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
報償費	大会事業費	0			
旅費	職員旅費、委員等旅費	0			
需用費	備品費、消耗品費、印刷製本費、食糧費、燃料費	3			
役務費	通信運搬費、手数料	1			
使用料及び賃借料		7			
委託料		38			
助成金		21			
計		70	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0